

# 科目等履修生

科目等履修制度は、法政大学大学院修士課程が開講する授業を1科目から履修できる制度です。  
※一部履修できない科目があります。また、正規生の履修に支障をきたす場合、履修ができません。

科目等履修生は、毎年8月下旬と3月中旬～下旬に募集しています。

## 科目等履修生のメリット

### 1 大学院進学準備期間として活用

2年間通学できるか心配な方には、大学院通学の疑似体験としても利用できます。どのような授業が行われているか、立地的に問題がないか、体験してみてください。

### 2 履修した科目は無駄にならない

科目等履修生として取得した単位のうち10単位までは、正規生に入学後、研究科教授会の許可を受けて修了に必要な単位として認められます。よって履修した科目は無駄になりません。

## Point >>>

単位	一年度 12単位以内	費用	<参考>文系 4単位科目1科目につきの場合 登録料10,000円+履修料60,000円	合計	7万円
----	---------------	----	--	----	-----

本制度利用の目的はさまざまです！

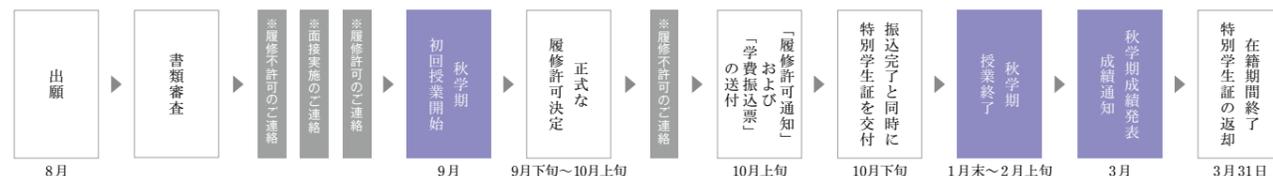
学部で学んだ内容を今一度確認し、資料解釈の幅をさらに広げたい方	□史学専攻 [日本考古学特殊研究Ⅰ・Ⅱ]
企業家としてイノベーションを主導したい方	□経営学専攻 [イノベーション・マネジメント概論]
企業の海外戦略を理論的・実践的に学びたい方	□経営学専攻 [国際経営論]
消費者のニーズを体系的に分析したい方	□経営学専攻 [マーケティング・リサーチ論]
キャリアコンサルタント国家資格化に伴い、専門性の深化の学びを必要としている方	□キャリアデザイン学専攻 [キャリアアカウンセリング論]

### ■募集研究科・専攻

研究科名	専攻名
人文科学研究科	哲学専攻・日本文学専攻・英文学専攻・史学専攻・地理学専攻・心理学専攻・国際日本学インスティテュート
国際文化研究科	国際文化専攻
経済学研究科	経済学専攻
法学研究科	法律学専攻
政治学研究科	政治学専攻・国際政治学専攻
社会学研究科	社会学専攻
経営学研究科	経営学専攻(アカウンティング・ファイナンスコースを除く)
キャリアデザイン学研究科	キャリアデザイン学専攻
公共政策研究科	公共政策学専攻・サステイナビリティ学専攻
政治学研究科・公共政策研究科	連帯社会インスティテュート
理工学研究科	機械工学専攻・電気電子工学専攻・応用情報工学専攻・システム理工学専攻・応用化学専攻・生命機能学専攻
デザイン工学研究科	建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻・システムデザイン専攻
人間社会研究科	福祉社会専攻
政策創造研究科	政策創造専攻

※経営学研究科 経営学専攻 アカウンティング・ファイナンスコース、情報科学研究科 情報科学専攻、人間社会研究科 臨床心理学専攻は、科目等履修生を募集しません。  
※経済学(昼間)、社会学、人間社会研究科の授業は、市ヶ谷キャンパスおよび多摩キャンパスで行われますので、時間割に注意してください。なお、理工学研究科の授業は小金井キャンパスで行われます。

### ■出願から在籍期間終了までの流れ <参考>秋学期出願の場合



※研究科によりフローが上記と異なる場合があります。詳しくは募集要項をご確認ください。

### ■出願資格

- 1 大学を卒業した者
- 2 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 5 文部科学大臣の指定した者
- 6 大学に3年以上在学した者で、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- 7 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※出願資格の確認が必要な方は、指定期日までに、最終学歴の卒業証明書と成績証明書を添えてお問い合わせください。その他、研究科によって追加書類の提出を求める場合がありますので、事前に各研究科担当窓口にお問い合わせください。

### ■2016年度時間割表・シラバス公開

各研究科ホームページで公開しています。

研究科名	時間割表・シラバスの公開
人文科学研究科(国際日本学インスティテュートを含む)・国際文化研究科・経済学研究科・法学研究科・政治学研究科・社会学研究科・経営学研究科・キャリアデザイン学研究科・公共政策研究科・連帯社会インスティテュート	<a href="http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/ichigaya/">http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/ichigaya/</a>
理工学研究科	<a href="http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/koganei/">http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/koganei/</a>
デザイン工学研究科	<a href="http://www.design.hosei.ac.jp/gs/">http://www.design.hosei.ac.jp/gs/</a>
人間社会研究科	<a href="http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyuka/ningenshakai/">http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyuka/ningenshakai/</a>
政策創造研究科	<a href="http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/sozo/">http://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/sozo/</a>

## Voice | 多彩な分野の社会人が、科目等履修生制度を利用しています。



勤務先：文具メーカー 勤務  
木村 恵

### 個人という存在を世の中のために生かしたい

大学院を選択する際、私が法政大学大学院の科目等履修制度を利用した理由は、科目のラインナップです。社会人として経験を重ねるにつれ、経済や消費とは別の分野について学びたいという思いが強くなり、秋学期の半期で「英語学特殊研究第二B」「戦後沖縄と対外関係Ⅱ」「日本文芸特講ⅡB」の3科目を受講しています。授業を通し、沖縄の戦後を深く学ぶことで日本の戦後政治への理解が進み、さらに政治と文学が表裏一体である点に気付くことができました。ただ、そこでは知識の獲得以上に、凝り固まっていた思考回路に新たな視点加わり、私個人の世界観が大きく広がったことに喜びを感じています。

今後は正規生としての入学を検討していますが、まずは来年度に通年で科目等履修制度の利用を考えています。その際には現在の人事職という業務の関連や個人的興味から、心理学を学ぶ予定です。



勤務先：私立大学 専任講師  
桑田 明

### これまでの自分自身の経験や実績を再確認する

私は大学で日本語学の専任講師を務めており、自分自身のための再学修とともに、キャリアの棚卸しをして今後の仕事に生かしたいと考えて制度利用を決めました。受講可能な日時が週末に限られるため、半期に1科目ずつ、2年間をかけて「生涯学習論」「メディア社会学特殊研究2(社会学研究科)※2014年秋」「キャリア調査研究法基礎」「キャリア教育論」といった科目を受講しています。主にキャリアデザイン学専攻の科目ですが、社会人として経験を積んだ方々との貴重な意見交換の場となり、交流も深まっています。この制度は、他の大学院と比較して科目のレパートリーが豊富です。また、科目等履修生も決して「お客様」扱いではなく、本科生と同様に緊張感を持って授業に臨みます。教授陣も一流でマンツーマンで親身になってくださり、カルチャースクールなどとは異なるアカデミックな学びをピンポイントで経験したいという方にも適した制度だと思います。